



## 基調講演Ⅱ 要旨（和訳）

コーネル大学農生命科学部開発社会学科 教授 ウェンデイ・ウォルフオード  
(井澤 裕司 訳)

この10年間、食を取り巻く諸問題（生産、流通、持続可能性、食生活、アクセス可能性など）はますます緊急性を増している。2007-2008年の世界食糧危機では、劇的な価格上昇が人類史上初めて飢餓にある人々の数を10億人以上に押し上げたが、それ以来、気候変動、環境悪化、食糧と燃料の不安定性の広がり、地球規模での土地の略奪、国際的な難民の危機の高まりなどの諸問題に対して、食の未来は非常に重大な関心事となっている。国際社会はさまざまな形で反応してきた。2008年には世界開発報告書（World Development Report）が25年ぶりに農業に焦点を当て、食糧農業機関（Food and Agriculture Organization）は、かなりラディカルな『開発のための農業知識、科学技術に関する国際評価（International Assessment of Agricultural Knowledge, Science and Technology for Development）』を発表した。農業やフード・ロス、栄養と開発の問題を世界レベルで統合的に取り組むための、多くの博愛主義的な提案が公表されてきている。同時に、新たな農民運動、国際キャンペーン、土地伐採、資源採取、食糧主権などの問題をめぐる多国間ネットワークが、包括的で持続可能な社会的に公正なシステムに向かわせるための対話を後押ししている。

これらはすべて食の研究に現代的な重要性を与えてはいるが、それは容易ではない。コーネル大学には、植物学、人類学、開発社会学、食品科学、栄養学、応用経済学、ビジネス、ホテルスクール、獣医学院など、食研究が重要性を持つ多くの学部や研究センターが存在している。しかし、食の将来の課題に対しては、複数の視点と方法論的ツールの多様な組合せを必要とする。社会に対して重要かつ永続的な影響力を持ち、複数のレベルで実際の影響を生み出すためには、大学には外部組織とのパートナーシップが重要となる。コーネル大学では、非政府組織、民間部門、政府、社会運動、活動家ネットワークとの協力的パートナーシップを構築するために懸命に取り組んできた。特に、ニューヨーク州からモザンビーク北東部まで、それぞれの地域の研究機関と協力をし、相互に能力を開発する取組みを実施してきたことを強調しておきたい。

食の未来についての諸問題は、本質的に学際的かつ多元的なものである。大学における最もエキサイティングな仕事のいくつかは、テーマに応じて構成された学問領域をまたがるユニットやチームで実施されている。コーネル大学はそのような研究を調整する全学的な研究センターを立上げており、もっとも有名なものとして、エイナウディ国際研究センター（Einaudi Center for International Studies）、持続可能な未来のためのアトキンソンセンター（Atkinson Center for a Sustainable Future）、食品、農業、開発のためのコーネル研究所（Cornell Institute for Food, Agriculture and Development）などがある。これらの3つの研究センターでは、テーマ主導型、共同作業型、結果指向型の研究を立上げ、育成、促進する重要な作業を担っている。今回の講演では、5つの異なるプロジェクトの事例を取り上げる。①中央アメリカにおけるコーヒーの遮光栽培が生物多様性にもたらす過程を共に研究する経済学者、生態学者、社会学者、鳥類学者のチーム、②植物と動物の科学、栄養、社会科学を統合して、食品と健康の多元的で多方向に学生を養成する新しい公衆衛生修士号課程、③コーネル大学の教員、学生、地域社会活動家、農家が集まり、持続可能で完全な地域的な食糧システムの性質について議論する参加型コミュニティ会議「Farm to Plate」、④世界中のスポンサーとの間で食料や農業における実務的で喫緊の課題を解決する大学院生グループを募集するための、競争的な学生多分野研究チーム（Student Multidisciplinary Research Team）プログラム、⑤最後に、キャンパス内での研修の機会と、地域での食糧システムを中心とした現場での体験学習によって受講証明書を授与するプログラムで、そのために、法律、歴史、工学、植物遺伝学、土壌科学、社会学、地理学および園芸学の学者と CARE、



Oxfam、The Nature Conservancy、Unilever などのパートナーでチームが編成されている。

私たちは全て、究極的には食に密接に結びついている。したがって、食に関する学識は、緊密に連結していることが求められるのである。